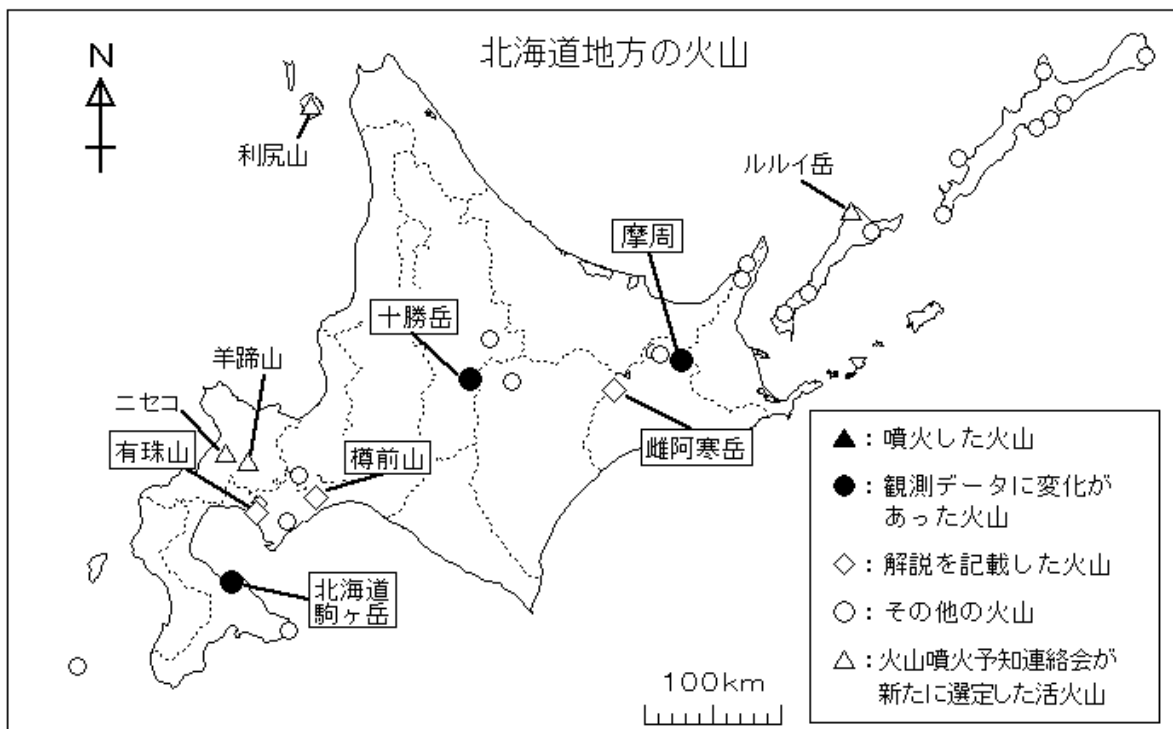


北海道地方の火山活動解説資料（平成 15 年 2 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



摩周 : 12～13 日にかけて摩周湖付近を震源とする地震がやや増加しましたが、15 日以降は収まりました。弟子屈町美里では 13 日 04 時 17 分の地震で震度 2 を、その他 2 回の地震で震度 1 を観測しました。

雌阿寒岳 : 観測データに大きな変化はなく比較的静穏に経過しました。2000 年以降ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動はやや弱まる傾向にあります。

十勝岳 : 8 日と 25 日に火山性微動が観測されました。特に 8 日の微動は、1988～89 年の噴火活動後では最も大きい規模で、噴煙の状況が悪天のため不明であったことから「噴火の可能性」を考慮し臨時火山情報を発表しました。北海道の協力で 8 日の微動発生後に実施した上空からの観測では、火口内および周辺に降灰などは認められなかったことから、噴火はなかったと判断しました。なお、微動の発生前後で地震活動の状況に変化はありませんでした。

樽前山 : 今期間、顕著な地震増加などはありませんでした。1996 年以降地震活動が活発化しており、A 火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっています。

有珠山 : 火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳 : 25～26 日にかけて、ごく微小な地震が一時的に増加しましたが、噴煙や地殻変動に目立った変化はありませんでした。

次の火山活動解説資料（平成 15 年 3 月分）は 4 月 7 日に公表します。
 （札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>）
 （気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>）